

岡本眸の春の句

花どきの障子明りに目覚めけり  
糸ざくら一枝揺るればことごとく  
ふくらめばおのづと離れ紙風船  
顔に日が射す初蝶に会へるかも  
春の暮遠き幹より人離れ

松岡隆子 抽